

責任者	商学研究科委員長	作成部局	商学研究科
-----	----------	------	-------

2021年度に向けた教育研究目標

【A票:教育研究目標1】						
(タイトル) 研究者の養成						
(狙い内容) 「研究職コース」においては、前期課程・後期課程5年一貫制のコースを通じて、高等教育機関等における研究者にとどまらず、民間のシンクタンクをはじめとした幅広い分野での活躍を想定した高度な専門性と豊かな人間性を備え、独創的な理論研究能力を有する課程博士を授与するにふさわしい研究者の養成を目標とする。						
1. 6年後(2021年度)の目指す姿(目標) 定員を充足するとともに、学生の研究分野の偏りを解消する。						
2. 上記の目標を設定した背景、課題及び現状分析について、記述してください。 長年にわたり定員を充足していない。また、特定の研究分野に学生が偏っている。そのため、学生間の競争(切磋琢磨)を促す環境にない。						
3. 達成度評価						
評価指標	収容定員充足率(3学年全体)				評価尺度	A:80%以上 B:60%以上80%未満 C:40%以上60%未満 D:40%未満
4. 年度毎の目標値						
2015年度(現状)	2016年度	(2017)年度	(2018)年度	(2019)年度	(2020)年度	2021年度
D	C	C	B	B	B	A

【A票:教育研究目標2】						
(タイトル) ビジネスリーダー等の養成						
(狙い内容) 「専門学識コース」においては、前期課程2年間のコースを通じて、企業にとどまらず官公庁、NPOなど幅広い分野での活躍を想定した実務現象の解明の基盤となる理論を修得した人材ならびに高度の専門的学識を備えたビジネスリーダーの養成を目標とする。						
1. 6年後(2021年度)の目指す姿(目標) 定員を充足するとともに、学生の研究分野の偏りを解消する。						
2. 上記の目標を設定した背景、課題及び現状分析について、記述してください。 定員の充足率が低下傾向にある。また、特定の研究分野に学生が偏っている。そのため、学生間の競争(切磋琢磨)を促す環境にない。						
3. 達成度評価						
評価指標	収容定員充足率(2学年全体)				評価尺度	A:80%以上 B:60%以上80%未満 C:40%以上60%未満 D:40%未満
4. 年度毎の目標値						
2015年度(現状)	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
D	C	C	B	B	B	A